



2023年2月6日

AGCとサンゴバン社、板ガラス製造におけるCO₂排出量大幅削減に向け 共同開発に合意

AGC（AGC株式会社、本社：東京）とSaint-Gobain（Saint-Gobain S.A.、本社：パリ）は、板ガラス製造時のCO₂排出量を大幅に削減する技術を共同で開発することで合意しました。2024年下期に最新鋭のパイロットプラントで実証実験開始を目指します。

本パイロットプラントは、バレフカ市（チェコ）にあるAGCの型板ガラス製造プラントを全面的に改修し、建設します。本共同開発は、天然ガスの空気燃焼を熱源とする板ガラスの製造方式を、50%を電力・残りの50%を天然ガスの酸素燃焼に転換する新しい技術を目指すものです。この技術の実現により、板ガラス製造におけるCO₂排出量を大幅に削減することが可能となります。

本共同開発は、板ガラス製造時の熱源のクリーン電力比率向上を加速し、使用する製品の環境負荷低減を求めお客様への要望に対応することが可能となります。両社はガラス業界における脱炭素化のリーディングカンパニーとして、サステナビリティに関する知見を結集し、イノベーションの実現を目指します。

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部 小川 知香子
(担当：中尾 TEL: 03-3218-5603 [お問い合わせフォーム](#))

個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取り扱いをさせていただきます。